

2300 | 絵画研究 III

2 単位（面接授業 2 単位）

三浦明範教授、川口起美雄教授、大野彩講師、喜井豊治講師、米内則子講師

授業の概要と目標

「絵画研究 I」を履修した者が、同科目で選択しなかったテンペラ、フレスコ、モザイク、ステンドグラスの4つの技法から1つを選択し、さらに研究を重ねることを目的とした科目。授業としては絵画研究 I と同じ内容であるが、面接授業のみで行われる。

西洋中世からルネサンス期に至るまでの主要な絵画技法であったテンペラ画を中心に、古典技法のフレスコ、モザイクや、中世ゴシック期に花開いたステンドグラスを体験学習することにより、単なる技法の習得に止まらない、素材と表現の在り方を通して造形表現の広がりを学ぶ。

課題の概要

○面接授業課題「古典技法等の実習」

1-1 「古典技法」等の実習を通して素材と表現の在り方を学ぶ。テンペラ、フレスコ、モザイク、ステンドグラスの4つの表現技法の中から1つを選択し、制作する。

授業計画

第1日目	午前：前提講義及び制作	午後：制作（各古典技法による制作）
第2～5日目	午前：制作	午後：制作
第6日目	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

作品による評価

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 「絵画研究 I」の単位を修得していること

「絵画研究 I」で選択していない技法を選択すること。

[備考] スクーリング時に受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：[絵画—素材・技法—]（武蔵野美術大学出版局刊行 2002 年）